



観光特集

町長と語ろう！

～ 十勝岳温泉郷の魅力と観光振興 ～

町内のグループ・団体・町内会などが町長と語り合う「町長と語ろう」。11月25日、かみふらの十勝岳観光旅館協会の5人が、十勝岳温泉郷を中心とした観光振興について、町長と熱心に語り合いました。十勝岳地区の持つ魅力や、抱える諸問題についてお伝えします。

十勝岳温泉郷の 魅力とは？

●青野さん 自分にとっては当たり前だと思っていた雲海や星空が、観光客には喜ばれるという状況を見て「十勝岳には、ほかにはないものがいっぱいあるんだな」と思います。旅館の近くには散策路もあって、改めて見るとこんな景色があるんだと気がきます。

また、白金温泉にはクロスカントリースキーの合宿も来ているようなので、標高が高く、降雪が早いこの地区に練習コースができれば人が来るんじゃないかなと思っています。

●荒生さん 登山やバックカントリースキーには毎年、たくさんの方が訪れるなど山を取り巻く観光が盛んになっていますが、山の入り口には人を送り出す施設がないので、ヒジターセンターを造ってはと思います。

しかし、十勝岳温泉駐車場では、登山シーズンやバックカントリーシーズンには現在でも道路まで車があふれている状況があり、人を呼ぶためには駐車場の拡張が必要です。十勝岳温泉郷が観光の受け皿となつてにぎわえば、町もにぎわうと思いますが、そうなる、町の玄関口である駅や周辺の整備も必要だと思います。

●町長 公務で道外へ行きましたが、ほかの山と比べて、十勝岳の見える距離感が絶妙だと感じました。それだけ人が来ているということはまさに「宝

の山」。今までは「冬の観光は休み」というイメージがありました。冬も活用しない手はありませんね。

●宮澤さん うちが韓国からのお客様が多く、海外にはない山の魅力を感じて来る人が多いです。海外からインターネットで宿泊予約をし、滞在中にはリアルタイムで現地での滞在状況をネットに流すので、宿泊客の友人から「わたしも行きたい！」とその場で予約されることもあります。でも、山はネット環境が整っていないので…

●町長 ネット環境の整備は町の大きな課題。市街地は光回線の整備を進めています。その周りはまだです。で、来年以降整備していく予定です。

山に行く手段を どうするか？

●田中さん インターネットを通して十勝岳温泉郷の魅力が伝わり、人気が出てきていますが、安全でスムーズな移動が課題になっています。無料送迎などの自社努力をしていますが、バス

の手配ができないときもあります。町営バスを活用させていただきたいところですが、十勝岳線は1日3本しかない。JRとの接続がスムーズな運行時刻を考えてもらいたいのですが…

●町長 スクールバスとの混乗方式で運行しており、見直しの余地もあります。交通拠点としての駅と、中継地点の駅前を魅力を上げてほしいとのこと



ですがどういったイメージですか？

●荒生さん 外国人が利用するのはJRが多いです。観光協会が駅にないので、観光窓口としての機能は弱いように感じます。駅に観光の拠点は必要かと。あと、山をベースにした観光には、雪に左右されない交通手段を確保したいです。「冬は道が悪くて怖い」と言ってくる人もいますから。町の経費がかかりますが、人を呼ぶためのもので、バスの増便をお願いします。旅館側も「温泉とバス」でセットで売り出し、お客さんの負担を軽減して冬の集客を図りますので。

●荒田さん 連泊するお客さんのために、ほかの温泉への送迎を自社努力で行っています。ほかの温泉を気に入ってもらえれば、また次も十勝岳温泉郷に来てもらえるので、旅館同士で協力し、付加価値づくりを行っています。

●町長 町では現在、町営バスの運行態勢見直しのため、アンケートを分析中です。町内の「足」は、乗り合いタクシーやスクールバスの小型化で対応していますが、観光については利用者の目的に合うような形にできないか、知恵をいただければと思います。



十勝岳温泉 カミホ口荘
荒田 政一さん

十勝岳温泉 カミホ口荘
田中 慎二さん

フロントティア フラヌイ温泉
荒生 博一さん

十勝岳温泉 湯元 凌雲閣
青野 範子さん

ヒコッテバーデン上富良野
宮澤 彰さん

今後の展望は？

■荒田さん 「ふるの・びえい」のブランドイメージはほぼ上限で今後、富良野に来る人は減少すると思います。

一方、上富良野の認知度は「十勝岳は十勝にある」と思われるくらい低いのが実情。町は豚肉やラベンダーなどが売りですが、「十勝岳もイチオシ」と周りに勧めてほしいです。

あと、どの旅館も経営が苦しく、命綱である「水・お湯・熱」のどれかが止まったら自社での解決は難しい状況です。町の財政も厳しいと思いますので、国の事業に乗れないかアンテナを張って情報を集め、もしものときに備えていただければと思います。

●町長 十勝岳温泉郷のインフラの充実は、町の観光を支える大きな柱でもあります。道や国などに確認しながら勉強していきたいと思っています。私も悩ましいのは、あくまでも「上富良野」という名前にこだわることか、あるいは占冠にあるトマムが、占冠のトマムではなく「富良野のトマム」と名乗ってアピールしているように、上富良野もふるの・びえいの知名度を生かすことで、結果的に上富良野にも多くの人が来ればいいなと思うたりもしています。「名より実を取る」という思いでもあります。

■荒田さん バーデンかみふらのの前オーナーの佐藤さんが「十勝岳温泉は

富良野・美瑛の奥座敷」という秀逸なキャッチコピーを作っていて、ふるの・びえいのイメージで呼び込むのは現実的だと思いますが…。個人的には、いつか「ええっ、あの上富良野町の出身なの!？」と思われるように育てたいと思っています。

●町長 最近、富良野がワールドカップや北の国からのイメージではアピール度が低く、十勝岳を含めた売り込みが必要との認識を持っていて、これからは十勝岳を生かそうとの思いでは一致しているので、この動きに便乗できればとも考えています。こういう活動を積み重ねた結果、気付いたら町が有名になっていた、というふうになるようにしたいですね。

■青野さん 上富良野は「コラノ」と同じまちと思われがちですが、「トマム」みたいにカナ3文字で「カミフ」って名前を変えたらイメージ変わるんじゃないですかね(笑)

■宮澤さん 十勝岳温泉郷の景色はお客様に「わあ、すごい！」と言わせる魅力を持っていて、訪れた方は感動されます。インターネットでの映像配信など、町としてもその魅力を効率的にアピールすることが重要です。

●町長 現在、町の観光PR用のDVDを作っていて、完成後には全国に配布します。権利フリーで、写真にも対応できる画質で作っていますので、ぜひ皆さんも活用ください。

■荒生さん 雑誌とかで写真が欲しいといわれるので、PRするためにも素材があるとありがたいです。

■青野さん 新しい取り組みとして来年、旅館の別館を利用して「山の駅」をつくり、山の情報発信や登山グッズなどの販売をしたいと考えています。

■荒田さん 海外では雪上車で山を登るアクティビティがあります。十勝岳エリアでも同じようなサービスを提供し、安全に景色を楽しんでもらうようなことができないかと思っています。

●町長 私は、凌雲閣さんから中茶屋までの間でスキー大会ができればとずっと思っています。コースが厳しいから無理ではと言われていますが…。

■青野さん きつい方が人気なんですよ、町長(笑)

■荒生さん 夢のような企画も出ましたが、官と民の協力が強固になれば実現できると信じています。私たちも自分たちのスキルをアップさせながら、上富良野町のファンを増やすために努力していこうと思っていますので、よろしくお願いたします。

●町長 観光振興ツールを研究する必要性を再認識しています。行政にしかできないこと、特にライフランに不安を持って営業するハンディについては、我々が積極的に手を出していこうと思っています。また、お互いに協力し合って前進したいと考えていますので、今後ともよろしくお願いたします。

問合せ 町民生活課自治推進班 ☎099805